身体介護テーマ別研修〈ポジショニング編〉　報告

1　開催日

令和８年 10 月 15 日（木）、10 月 16 日（金）

2　講師

公認フェルデンクライス・プラクティショナー　理学療法士　伊藤　亮子　氏

3　報告

初日の午前中は、ポジショニングの目的、考え方等、ポジショニングにおける総論の講義を行いました。午後は、ヨガマットを使用し、姿勢・身体・重力・時間・支持面の相互作用として、姿勢の変化により、身体のどこに重力が掛かっているか等、演習を交えながらグループ検討を行いました。

２日目は、グループでベッド上でのポジショニング体験を行いました。介護する側・される側を体験することで、利用者が安楽な姿勢について知ることができたと同時に、適正なポジショニングにつなげるためのクッションの種類や使用や使用方法等を検討する演習を行いました。

講義や演習を通して、介護現場におけるケアの向上につながる研修となりました。

【受講者アンケート（一部抜粋）】

- 部分的にとらえるのではなく全体を見てポジショニングを考えて実践する事の重要性を２日間で知る事ができた。特に演習内容で実際の介助を行う上で多くの事が知れました。
- 体の傾き、ねじれ等の確認をし、クッションを使用していく方法が大変為になりました。利用者様のこれからに活かしたいです。



姿勢･重力･支持面を学ぶ



ピローの使い方を学ぶ



仰臥位のポジショニング



側臥位のポジショニング